礫陵新聞

発行所
福岡県若松市小石
若松高等学校
新聞部
発行人　大村文男
編集人　西尾守正
印刷所　西日本新聞社

在校生諸君に

在校中は色々と御世話に成りました。私共卒業後は諸君の熟と力で若高をよりよく築きあげられん事を切望します。

卒業生一同

卒業生諸君に贈る

"永遠に青年たれ"

校長　森本鉄之助

私は今春学徒を巣立つ卒業生諸君の記念アルバムの中に『卒業生よ永久に青年であれ』という語を書いて将来の発展と幸福とを祈る贈の辞とした。

さて私の少年時代に古老達から『歳はとっても歳とるな』という戒めの言葉を聞かされた。そのころの私にはその語の意味も解らずにいたが中年を越してようやく真義を悟ることが出来るようになった。私達人間が年齢を重ねると共に老衰して来ることは間違いない事実である。しかしこれは肉体的生理的の問題であるが精神的心理的の年齢は必らずしもその暦年齢と平行して行くものではないと思う。西遷暦を過ぎた人にしてなお壮者をしのぐかくしゃくたる元気を有し青年も及ばない程の大きな仕事をする人が居る。かの『百八歳まで』との自信と希望をもって政界に活躍した大隈重信氏の如き正にそのよき例であろう。人生の長短はその人の寿命をもって量るべきものではなく、その人の為した仕事の大小をもって量るべきである。学校が東京行きに決定したのは生徒の要望も強かったが、関西方面は世界的なつながりが少ないが東京は世界の中の東京であるので以後研究のためにも知識の上でも知っておく必要があるので決定したといはれている。旅行者に対して学校当局の要望としては小使は千円以内で服装は簡素で派手な様子はしない事、第二は遊覧旅行ではなく真の修学旅行であってほしい事、第三は東京で各グループ研究が日程に組まれているので国会議事堂やその他有名な建物等を研究しても良いのでその前にこれらの充分なる予備知識を身に付けておく事、第四は門司―京都大阪―東京は、いずれも夜行であって翌日すぐに遊覧等日程が強行なので充分なる睡眠をとっておくよう

ある。あの『荒城の月』をもって有名な滝廉太郎氏はわずか二十五歳にして惜しくも逝いた。彼の不朽の名曲は実に青年時代のものである。大隈氏といい滝氏といい共に理想に生き、夢を持つ人であった。歳をとらないとは永く青年であることをいう。青年とは何か。理想をもつて明るく生きる人である。しかして老人とは夢を描かず希望も失った人である。人生は正に仕事である。働くことである。家康も『人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し。急ぐべからず』と戒めているが如く人生の行路たるや実に遠く使命たるや又まことに重大である。百難を克服し怒濤を乗り切って彼岸に達し得るには大勇猛心と不撓不屈の忍耐力を要する。それは血に燃え生気に充ちた若人において始めて成し遂げ得るところである。

新しい民主的な平和な文化国家の再建はいうに易くして実現はなはだ困難な事業である。しかしてこれを完成せしむるのは今夢を抱き希望に輝いて校門を出て行く卒業生諸君の熱と力に待つのみである。

卒業生諸君よ、歳をとらず『永久に青年』でその使命を果されんことを切望する。

三月行事予定

◇八日―十二日学期末試験
十三日以後休日
◇十七日二、二年単位認定会議
◇二十二日父兄会、父兄総会
◇二十三日修業式
◇二十六日第一回追試験
◇二十七日第二回追試験、午後単位認定会
◇三十日　修学旅行男子出発
◇三十一日女子出発

修学旅行は東京に

男子三十、女子三十一日出発

来る修学旅行は三月三十日第一班男子部、三十一日に第二班女子部がそれぞれ出発することに決定した。

旅行のコースは若松―門司（第一泊）―京都朝着（市内見物、二泊）翌日―奈良―大阪（夜行）―東京朝着（遊覧バスで遊覧）翌日グループ研究―翌日十一時まで自由行動、午後一時東京発〝鳳仙〟で帰途。以上のようなコースである。学校が東京行きに決定したのは生徒の要望も強かったが、関西方面は世界的なつながりが少ないが東京は世界の中の東京であるので以後研究のためにも知識の上でも知っておく必要があるので決定したといはれている。旅行者に対して学校当局の要望としては小使は千円以内で服装は簡素で派手な様子はしない事、第二は遊覧旅行ではなく真の修学旅行であってほしい事、第三は東京で各グループ研究が日程に組まれているので国会議事堂やその他有名な建物等を研究しても良いのでその前にこれらの充分なる予備知識を身に付けておく事、第四は門司―京都大阪―東京は、いずれも夜行であって翌日すぐに遊覧等日程が強行なので充分なる睡眠をとっておくよう

漢文は必修科目か

文部省で表面化

衆議院文部委員会並びに天野文相をめぐって高等学校の漢文復活論争がしだいに表面化しつつあることは各社会新聞も大きくとり扱っているところだが果して必修科目として学校国語教育に編入されるかどうか広く各界から注目を浴びている。

全国で漢文を選択している学校生は約半数から三分の一位で衆院文部委員会は漢文を今春から必修科目としてとり入れよと主張し『現代の日本は東洋文化に害目になりつつある』の理由のもとに立った一万二千名の漢文指導者とともに力説している。これに対し復古に足踏みしている文部省は次のような盲点を指摘している。即ち

一、制限漢字の線が崩れ漢字教育が混乱しないか。

二、必修になれば教科課程全体を改めねばならないし生徒の授業能力に必要以上の負担になるまた中学の漢文についても再検討がいる。

三、漢文の文章中には思想や内容の上で時代と合わないものがある。

四、この程国立大学協会から高校での漢文の必要性について調査報告があったがそれによれば文化系は必要とするもの大割前後（法、経済は約二割）理科系は殆んど必要なしとありその調査を無視出来ない。

なお漢文の自由党議員らは復活に賛成しているから学校当局もその教育方針に相当の影響を受けるものと見られる。

次に本校久保教官はこの問題について次のように語っている。

漢文は古典文学を理解するには絶対に必要で枕草紙等をやるにしても漢文の知識がなくては駄目だ本校は九月頃から文部省より依頼されていたので国語甲から別にしてその趣旨に従って授業をしていた。もし結論が出ればそれによって指導していくつもりである

武道復活か

最近新聞紙上で武道復活の声が紙面をにぎわしているがこれを本校山崎教官にたずねてみた。

談　今新聞紙上で武道復活の声が高まっているが学校としてはまだ何の通知も受けていないのでわからない。しかし今迄は四月から実施してよいようになったから恐らく剣道も復活するのではないかという見込みである。

鷹取君表彰さる

日本育英会

本校の卒業生鷹取国雄君は去る一月二十八日奨学生の品行方正、学力の優秀者として育英会から表彰された。これは育英会の奨学資金を受けている者で本年度卒業生のうちで品行方正、学力優秀者を表彰するもので本校から二人選ばれていて一人が鷹取君、一人は定時制から選ばれている、県下でも選ばれた者は数少ないそうである

里見氏講演

去る二月十五日本校南講堂で〝独立精神の涵養〟と題した里見岸雄氏の講演があった。氏は日本国民は日本人としての道を歩み、アメリカの日本でもなくソ連の日本であってもならないことを強く強調し多くの聴衆者を感激させた。氏は日本国体学会総裁と里見日本文学研究所長を兼ねておられる。

女子便所完成

南北両校舎合併後北校舎は女子便所に不自由をきたしていたが今回PTAの援助のもとに十二月上旬から旧倉庫をくずして総工費三十万円で建築されていたが一月上旬に完成した、なお今まで使用していた女子便所は男子便所に変更された。

自由選択のワク狭まる？

職員室では最近自由選択の授業のワクを狭くするという空気が強くなりつつある。これは本年度に東京、その他の学校を研究し、又北九州の数高校が進学組と就職組に授業しているので本校もこれらの点から話題にのぼっているのではないかと見られている。本校男子は進学とみて女子の進学組と合わせて自由選択のワクを狭くして選択した科目の一致したものでホームルーム単位の移動制となるわけである。某教官の語るところによれば職員室の傾向から見てほとんど確定するのではないかと見られている。

滞納の最高は三ケ月

本校事務室探訪

滞納者に督促状を出すようになって月謝の納入が早くなったといわれている現在、今回事務室にその様子と一月に打切った緊急対策費について聞いてみた。

滞納者はその月の月末まで納入しなかった者に出すのであるが十月分は四十二名、十一月分は十九名十二月分は八名、一月分は十二名にそれぞれ家庭に督促状を出している、滞納の最高は三ケ月でごくわずかな人である。次に六月より徴収していた緊急対策費は一月をもって終了したがその収入は北校舎の女子便所と柔道場の改築に当てられた。その収入と支出を記載すると二月十三日現在で収入が五十万七千五百円、支出が四十八万一千二百八十九円で残金は二万六千二百十一円である。

消息欄

△吉岡教官、御長男章一郎君一月二十四日出生、元気で生長の由

△伊藤教官、二月十四日古前小学校教官と御再婚された。

△原田（男）教官、二月五日御長男征二君火傷で死去、享年七才

時事解説

卒業生諸君に與う

開和男

私は過去数回に渡って（よ）の記名で、この新聞紙上に『時事解説』を掲載してきた。これは私がたまたま新聞部に関係ある教官であり、また教科では、『時事問題』を担当していた関係であろう。私は最近ぼんやりと考えてみることだが、時事解説を論ずるということはなんのためなのであろうかということだ。それは、私はあくまで現実のーその現実のという意味は、それがじっと沈滞して動かないというのではなしに、常に流動し、新しい姿に変っていくということ、そういう意味では客観的現実といったいた方がより正確なのだがー社会に生きている以上、それを認識することが意味的人間としてのあるべき姿だと思う以上、どうしても避けられぬ、いやそうしなければならぬ過程だとは考えているが、私自身あるこのわくに入ってしまって、それ以上どうにも身動のならぬところに低迷しているため、はつきりした確信をいい表わし得ないからだろう。しかし私はそのようなもどかしさを感ずるが故に、私のいまの気持の正否を判定してくれるのは、ほかならぬ卒業生諸君だと思う。いわば私の行動と、信念と、これまでの足跡の全てを、私の運命を決してくれるのは諸君だと思っている。不安と焦躁と期待の複雑な気持だ一般国民が観念の世界に有頂天になっている際に、それをあらぬ方に向けた支配者の政略が破れてのち、国民は客観的現実の把握に、新しい世代のよりどころを求めはじめた。確に進歩である。しかし『現実』という言葉のもつ辛らさと、生きることのむつかしさを知った人達は現実の把握ということが実は生をよりよくするとのために如何に現実とうまく辻褄を合わせて生きていくかという、いわば後向の人生を生きていく手段として、受取りはじめたような気がする。

純粋な精神をまひさせるような社会悪と、それを取締ると同時にかえってそれを助長する厳密な意味での、傾向をもつ権力の動向がこの傾向に拍車をかけは。そして、『冷戦』『二つの世界の対立』『国家』『政権』などの概念が、この傾向を決定的にした。時事解説は、その動向を知ることによって、如何にうまく生きていけるかを発見するためによまれ、流行語を知りそれを会話のはしばしにおりまぜて快ごいを叫ぶために時事問題が学ばれた。この傾向に反発を感ずるものは、再び学問的体系のワクにかえり、観念の満足を感じはじめた。私が諸君に期待するのは、まさにそのような傾向をもつ社会に出ていこうとする諸君の純粋さと良識を信ずるが故であり、不安と焦躁を覚えるのは、諸君が社会の荒波に押流されて諸君達の純粋さを失ってしまいはすまいかと懸念するからである。再びいいたい。現実を知るということは、明日への楽しい人生を生きるための手段であり、そうするのは諸君たち自身であると。

前進

▼近ごろ街に出てビックリすることは『文化』という言葉が意外に氾濫していることである。▼『文北日本はまず観光から』とか『文化人のための○○本』などの標語の部類はまだよい方で『うまくて安い文化焼』などからはては『文化パチンコ』などに至っては思わず失笑させられることが往々である。▼遖しいのは、このな言葉を商売に使っている商人の気持よりそれに対して無反応になった民衆の気持である。▼現状の日本にぴったりする文化という言葉の意味は辞書を見れば第一義に『世の中の開け進むこと』とある、しかしこれはとりも直さず第二義の『自然を醇化して人生の理想を実現せんとする過程』ということであり第三義の『西洋かぶれ』とは凡そ意味が異る。▼仮りに前者を本質的な意味にとるとすると先述したような『文化焼』や『文化パチンコ』は一寸、合点し難いことになる。▼先日本校講堂で齋田愛子の独唱会があり続いて人形浄瑠璃の公演会が催された。▼このコントラストをなす芸術に生徒諸君はそれぞれ違った角度から感心し現在の自己にとって何か一物を得た気持であったろう。▼終戦後六年を数えたわが国では相当各界の芸術が復活しその道その道にそれ相当の名士の活躍を見ているが戦後はことに下品なものが混っているように思える。▼時代の先駆としてまた時代を反映するわれわれ学生は常にその点に気を付け、精神的に向上することをより多く求めて行動すべきであろう。▼フランスやイタリーが幾多の戦禍にもめげず雄然とあのような国際的位置を保っているのは芸術を解する真の文化国民だからである。▼政治界が国際的にもめているとき案外こんなことから諸国のもつれがほぐれて行くのではないか。

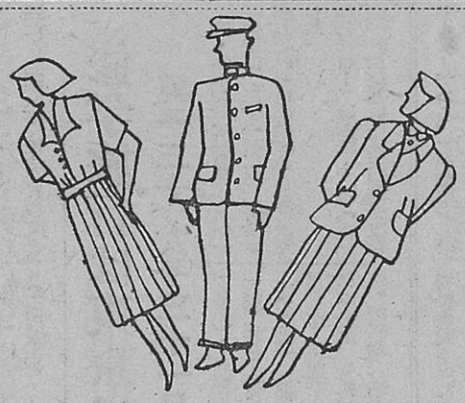
本校男女制服決定す

男子……紺・黒の詰襟学生服
女子……紺サージのスカートとスーツ

共学三年を経た今日。制服を決めようという声が父兄、先生、生徒の間に起つて来たので昨年生徒の間において調査が行われた。その結果スーツとセーラ服はほとんど同じ位でわづかにスーツの方が多い位であつたが父兄と先生と各クラスから服装委員一名が代表して更に検討した。しかし最後の決定は学校当局に任せ女子はスーツと決まり冬は紺サージのスーツで下に白ブラウス（丸えり、開襟いづれでも良い）スカートは図のようでひだの数は二四―二五位で夏はスーツの上を脱いだもので半袖白ブラウスである。

男子は紺、黒サージの学制服で従来通りである。制服は今春の入学生から実施される予定であるが現在一、二年の在学生は除々にそれらの線に合うようにして行き度い学校当局ではいつている。

☆☆カット説明☆☆
女子　紺サージスーツ型ブラウス白の丸襟又は開襟、スカートひだの数二四―二十
男子　詰襟の黒サージまたは綿サージの学生服



校内討論会開かる

弁論部主催、第一回校内討論会は去る十二月十九日午後より、一、二年、別々に南北両講堂において三時間にわたつて開催された。論題は一年の部『積極か、多読か』二年の部『能力別授業は是か非か』で論者は各一名づつ（商業科は都合のため不参加）四人一組となり肯定、否定と別れて四人の中より一人ギャツアテンを選出、持時間六十分で行つたが両学年とも持時間をもつてあまし予定の時間を一時間も超過するなど司会の運営に相当の研究が望まれるが総体的に見て第一回の討論会としては成功であり今後の発展が期待される。

校内問題

去る十二月二十四日弁論部は、校内問題、国内問題、平和問題と三問題十二問にわたつて全校生徒に世論調査を行つた。その主なものをひろつてみると

校内問題

貴方は現在の高校生活に喜びを感じていますか
感じている　二十八%
感じていない　五十一%
わからない　二十一%

本校の生徒会の活動は活発と思いますか
活発と思う　十・五%
活発と思わない　二四・五%
わからない　六十五%

前問の『貴方は高校生活に喜びを感じているか』で『感じていない』は三年の女子が最も多く七十%で最も少く、一般的に一年生が学校生活に多くの喜びをもつている

『本校の生徒会の活動は活発と思いますか』では『わからない』が二、三年に五十%以上もあることは調査に真剣に考えているとは思えない

講和條約

過半数が賛成

弁論部与論調査

国内問題

貴方は現内閣を支持しますか
支持する　三十%
支持しない　一九%
わからない　五十一%

今言論の自由は守られていると思いますか
守られている　二十%
守られていない　四三・五%
わからない　三十六・五%

講和について中国選択は国府としますか
国府とする　四十%
国府としない　十六%

わからない　四十四%

この三問の否定者は上級になる程多くなつていることが注意され、三年生を除いては女子の方に肯定者が多い。

平和問題

貴方は第三次大戦は避けられると思いますか
避けられる　三十一%
避けられない　二十九%
わからない　四十%

貴方は今回の対日講和条約に賛成しますか
賛成する　六十九・五%
賛成しない　十%
わからない　二十・五%

貴方は再軍備に賛成しますか
賛成する　二十八%
反対する　五十%
わからない　二十二%

この三問も上級生程否定者が多く特に三年男子に多いのに目がひかれる、しかし『貴方は再軍備に賛成しますか』の否定者は二年が六十三・五%で最高を示している

三月廿日に合格発表

高校入学、学力テスト終る

去る二月二十三日本校南校舎で来年度の高校入学、学力テストが行なわれた。内容は中学の必修科目第一群が国語、音楽第二群が数学、図工第三群は社会、職業第四群は理科、体操の八科目が行なわれた。この試験は市内全部の高校志願者八百余名が受けているこれで若高を志願するものは二月二十五日―一日迄願書を受付けて中学校の報告書が三月六日―十五日までに来るのでこれと学力テストの結果によつて合格者を三月二十日に発表するのである学力テストの結果は二月二十九日に各学校に通知しているが個人には発表しないそうである。なお瓜生教官はテストの模様を次のように語つた。

自分の考えとしてはこのテストの問題は中学校で真面目に勉強していたら決してむつかしくなく特別に準備の勉強をするまでに及ばない。問題はやさしかつたので落ちついてやれば出来たと思う。また受験者の態度は非常に真面目でよかつたが、非常に答案を早く出す人がいたがもつと慎重になつてほしかつた、また番号を書き違つているのはあつてはいる証拠である、こういうテストはゆつくりとねばり強くやつてほしかつたと思う。

火野葦平氏を囲んで

文学論等氏に質問

座談会

去る一月二十三日本校南講堂で作家火野葦平氏を囲んで職員、PTAの歴談会が行われた。

まず火野氏より"文学について"の話があり次いで職員、PTAが日ごろ文学に疑問をいだいていた所などを火野氏に質問し、"文学というものの本質論""文士の内幕"など多方面にわたつて聞き、この有益な会を散会した。

停滞する高校新聞

全国各地で高校新聞は盛んに発行されているが、最近高校新聞が停滞しているということが話題になつている、これらの理由としてはまず第一に学制改革にともなつて男女共学、ホーム・ルーム制などやつぎ早な新制度の実施の中から新しく発足していく高校のあらゆる面を描写して生彩ある紙面を作りあげていつたがそれは従前のことで今は高校も安定し、そういつた改革もなく例のごとく文化祭とか運動会、生徒会の選挙などであまり取材できない上に月刊を維持出来ないので事件の時間性がますます稀薄になつていく。これが第一の理由で第二には高校が漸次大学の予備校化しつつあり、大学への進学勉強に追われている第三の理由としては高校新聞が財政的に生徒会の予算を基礎にしているので財政が苦しい。等あげられている。今高校新聞はほとんどつ、怖るべき子供、犯罪少年等々

窓の開閉に配慮を

高橋教官強調

昨廿六年十月に本校で行なわれた結核検診の結果、養護主任高橋教官は下表の通り発表している。

同教官はまた全生徒に対する要求事項として次の点を指摘している

●今回南北両校舎に暖房計を設置したので全生徒の列用をお願いする。

●また特別風の吹く日以外は、登校すると必ず窓を開き室内の流通をよくするよう強調している。なお本校は他校に比較して外傷の多い事も注目される。

●無病などが起つた場合はすぐ家に帰らずに一応養護室で手当を受ける、そうすれば学校から病院、家庭に通知するので必ず養護室に知らせてほしい。

	注意要	胸部検査	BCG（陰性、疑陽性）	間接撮影 陽性者	ツベクリン反応 陽性	疑陽性	陰性
一男	1	4	69	148	50	20	49
年女		1	47	127	38	46	43
二男		2	33	160	73	46	36
年女	1	2	41	106	117	35	62
三男		2	49	69	63	27	22
年女		2	26	81	31	21	25
計	2	13	274	798	381	143	121

読書欄

『異常児』

ジ・ロバン作　岸田国士記

悪童、腕白小僧、級のびりつけっ

（スリッパ制に異議）

近ごろあちこちにスリッパの残骸が目に立つ、何しろ中身がボール紙、雨の降る日に南北の連絡路でも往往にしようものならジクリときてベリ、移動教室で混雑している廊下を通りぬけたらいつのまにかスリッパが破けてハダシだつた……授業しているとパタパタとスリッパの音が耳でうるさい一足百円として一冬に二足は使うそんな安もんは買わぬがよいというがさりとて親のスネをかじつているものがスリッパなどにそんなお金は使いたくない。よしんばあつたとて本が買いたいのが これ人情。一足百円として二足便い若高の生徒が千二百だが千人としても合計二十万円、それが冬が過ぎたら便所のスリッパになるならまだしもあの残骸では……どうかして昔のズック時代に帰りたい。（H）

（忘れ物は絶体にない移動教室）

教育制度の改革に共なつて本校でも移動教室制になつた。これは教育上非常によいことであるかもしれぬが、またその反面あまり感心されぬことも多い。

それら二三の点をひろつてみるとまず前の時間教室にわすれ物をした場合など、一、二時間たつて行つてみるとも早やない場合が多い。これは忘れた者が悪いといへば、それまでだが『人は機械にあらず』だ。なにも人をうたぐつたりまた罪人を、こしらへたりするわけでわないが、無くした方でわそれがたとへ小さな物でも一たんなくしたとなると後味の悪いものだ。また五時限目の移動は予鈴が鳴つてからとなつてるが、予鈴が鳴る前にもう早くきて、まだ内で数名の者が食事してるのにもかかわらず室内で、わざと騒れたりまた悪い者になると白黒拭をたいたりしている者の心境は、まつたく不可解である。われわれの年ごろは丁度いたづらの好きな年ごろである。しかし悪戯にも程がある古いいいまわしだがやつて良いことと悪いことは各自考へれば解らぬことはないはずだ。そういうことをやるとはなをわるい。まあ歯な各々の場合、各々の情勢に応じて理性で判断するということは、古今はいうまでもなく永久に変らぬ真理であろう。（M・I）

『文学入門』

桑原武夫著

われわれにとつて文学が生活の糧として重要な位置をしめていることは否定できない。その文学についての色々な問題を論じようとする人のために書かれたのがこの本である。内容は五章からなり、『なぜ文学は人世に必要か』『秀れた文学とはどういうものか』『文学は何をどう読めばよいか』等が収められている。文章も具体的で理解しやすく、その考え方も漸新で、この本への批判によつて正しい文学理論を樹立して行く段階において、何らかの意義を持つている本である。

他校便り

長髪の禁止

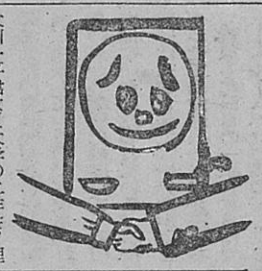
済々黌新聞（二五号）が報ずるところによると、熊本工業高校では第二学期のPTA総会で、生徒の長髪は禁止することに決定したそれは、就職の時好感を与えないし、また風紀問題として好ましからぬという理由から、といつているが学生の長髪が禁止されたのは全国でも珍しいことである。

明暗

皆様の投稿歓迎します。匿名も可、原稿は返却致しません。

パチンコ物語

画と文　呂比信也



大川一平君はK大学の二年生、理科に籍をおいている秀才である。しかも彼は猛烈なパチンコ嫌いであるが、ここにそれを殊更に述べるには一平君の彼女、香川のぶ子さんをまずもつて紹介せねばならない。のぶ子さんは五尺二寸、十三貫のすつきりした体軀を持つ同じK大学の一年生、通学列車で五尺八寸、十六貫の一平君に足を踏みつけられて親しくなつたという奇怪な、そしてわれわれにいわせれば一寸イケルお嬢さんである。

もつとも一平君はこの足踏事件に対し自分の弁舌でうまく和解交渉を解決し、さらに安喫茶店でコーヒーを飲合う位の仲になつたと思つているのだから、その点は良くわからぬのだが……。

さて彼一平君は卓抜せる才能と積極的な研究力とを持つてその才名は学校に鳴り響き、時折一平君が寄せてくる研究書や論文の素晴らしさには教授連はひそかに舌を巻いている程なのである。そして今日はまた学期末に提出すべき論文の原案を考えている。論題は、先日、のぶ子さんの足を踏んだ時考えついた"物質の弾性系数とそれによる附属物または人体の影響"であるが、もつとも人体の影響などというのは彼女にぶつかつて足を踏んだ時半言い訳をするためにいつたもので、もちろん除くべきものだが、のぶ子さんがそんな論題を突飛にいい出す一平君の風変りさに意気投合してからというもの、ロマンチストの彼は忘れられずにエツセイの論題にまで恋の片鱗を見せている次第である。その後彼は一応立てた原案を友人の森井君に話して見た。森井君は冗談まじりに、

『君、弾性の研究ならパチンコがいいよ。僕も時々やるが、なかなか良く弾性を応用しているよ。机に嚙りつくのもいいが、実際にあんな物をやるのもいいぜ』と笑いながら答えたのである。

このことがあつてから三日後、森井君は市内のSパチンコ屋で意外にも一平君を発見した。彼は一平君の顔を確かめるようにのぞきこみながら、

『君、遂にやり出したのかい』といつた。

『ああパチンコも弾性の応用なりよつて大いにやるべしという結論に到達したんだよ。今日はまず手始めさ』と一平君は人波の中からささやいた。結局彼はあの単調な玉の動きが運ではなくて微妙に変化する数字の配列のように思われてならなかつたのである。そしてそれが成功した時一平君は六ケ敷い数学の問題を一時間もかかつて解いた時よりもずつと愉快な気がするのでまつたく汽車に乗つても察の支えバネでパチンパチン……どうやら一平君は大のパチンコ狂になつたようである。しかし読者の皆さん早合点してはいけない。ここにまたまた一平君の心を逆転させることが起つたのである。それはのぶ子さんである。ある日いつものようにパチンパチンとやつている一平君の所に彼女がヒヨコリやつてきたのである。『一平さん、今日は私だつてパチンコするのよ。競争しましようか』彼女は自信ありげにいつたものである『よしやろう』一平君は早速応じた。彼の腕は近ごろ益々冴えている。数学的頭脳でやるからそこらのアンチャンとは段違いである。しかしその結果はどうだつたろう一平君は意外にも負けたのである。種明しをすればのぶこさんはこの一ケ月一平君をいさめるためにパチンコの猛練習をしたのである。のぶ子さんは女の方が男よりもずつと繊細な敏感な指の持主であることをしつていたのである。そして自信の持てることは科学者の一平君にとつて絶対にできるものではないことも、その後彼は依然パチンコが大嫌いになつた。その原因が恋心であるということも別に腹立たしく思われなかつた。

一平君が今、幸福な気持で一杯なのは学問という小道の広々としているものを見極めて、晴々としただけではないらしい。

齊田愛子と語る

"新人の活躍を期待"

アメリカ民謡を愛唱

写真は齊田愛子さんとそのサイン

地方巡演中のオペラ歌手齊田愛子さんは一月二十八日本校講堂で独唱会を開いた。記者は歌い終って一息されている齊田さんに一問一答を試みた。

問　昨年一昨年とそれに本年の三回、若高に来られましたが御感想を一言。

『内田先生が親類に当りますので九州に来た時はその斡旋で若高に参ります。従つて上級生とはなじみ深く歌の進歩などを認めてくれるので大変張り合いがあります』

問　若高生の鑑賞態度を。

『感心しました。初めはステージの所まで一杯の生徒さんで心配しましたが、その心配は打消されむしろ私の歌で皆さんも歌っている雰囲気を感じてとても気持よく歌えました。』

問　主として何処で勉強されましたか。

『主に英領カナダで後にイタリアのミラノで学びました。』

問　外国の歌と日本の歌とどちらが歌い易いですか。

『半分半分ですね。英語生活が永かったせいか英語の歌の方が楽ですね。言葉にこだわらず音楽をよく理解してもらう事に重点を置いています』

問　得意な曲にどんなのがありますか。

『専門家の歌わないのを私が歌っています。特にアメリカの民謡のやさしいものから歌つて皆さんに理解して頂けばよいと思つています。演奏会では聞く人によつて選択し皆さんのよく知つているものを選んで居ます。英語の歌は外人に聞いてもらつても劣らない積りです』

問　オペラと歌曲とはどちらが歌い易いですか。

『オペラは動作をしているので感情を出しにくく、歌曲は歌の中で感情を出さなければならないのでむつかしい』

問　学生と音楽について一

『戦争のために随分阻まれましたがうですが好きな方は大いにクラブ等で活躍される事です』

川島千世さん

戦後初の市民大會開く

一位に本校 田中忍君

戦後初の市民大会は一月二十七日、市当局主催でマラソン競技によつて復活した。当日は快晴で絶好のコンディションの下に高校一般の部は二十四名が参加して市役所前ー二島大鳥居ー市役所前のコースで行なわれた。市役所前を十時十分に出発相当の長距離であるが本校のベテラン田中君は絶えず自分のペースを守り悠々一時間二十四分の記録で優勝し賞状の程を示した。平山君もよく健闘し三位に治まつた事は一応成功を収めたといえよう。参加人員二十四名の内途中七名棄権し結局決勝点に到着したのは十七名であつた。中学の部では五十六名が参加し、市役所前ー二島板硝子前ー市役所前のコースで接戦を展開した。十二時二十五分高校一般の部、中学の部共に終了し続いて賞品賞状の授与が行なわれた。今年より毎年この行事を行なう事を当局では予定し将来はマラソンだけでなく他の種目も加える事を考えている。

一位の田中君

雪の伯耆大山を征服

設営地は六十糎の積雪

冬山登山の最初として山岳部員は若松山岳会員とともに一月二日より六日間中国の名峰伯耆大山の新雪にいどみ山頂をきわめた。四日快晴六時起床、一人平均十貫の荷物にウインパー天幕（九貫）その他多量の食糧などを元谷まで荷上げし設営を終了、明日の登山に備える（設営地の積雪約六十糎）五日曇、六時起床、八時ベースキャンプを出て行者谷を過ぎアイゼンをつけ雪と氷の上を雪崩に注意しつつ高度を高めて行つた。十四時待望の山頂をきわめたがガスのため遠望が利かず、わずかの休憩の後頂上を後にキャンプに向つた六日曇時々晴。七時起床零下三度昨日の反対のコースから全山縦走を試みた。途中雪が柔かく深かつたため登山に困難だつた。われわれは谷沢第二の谷にとりかかつたこれから先は岩がクラストしておりピツケルと三つ道具を頼りに悪戦苦闘一時間半陵線にとりつくことも出来ずにリーダーの引返し命令で残念ながら下降の途につき元谷県営ユヒツテに泊る。七日吹雪六時起床室内零下七度、昨夜来の風雪で気温はぐつと下り夜明けの最低気温はぐつと零下十四度に冷え込んだ。雪の上に天幕を張り雪を溶かして物を煮、雪の上に寝るということは非常に困難であり若高山岳部創立以来始めての経験であり、多大の収穫を収めた。最後に春山シーズンを迎えるに当り皆様の山行きの御相談を部ではお待ちしております。（山岳部寄稿）

写真は大山登山中の山岳部員

高体連より表彰受く

喜びの越智、杉の両君

二月二日予餞会の度上、高校体育連盟よりの表彰状が三年越智敏明君、杉道子さんに伝達された。これは優勝チームの各個人とその他のチームの内で特に技術に卓越した者や試合態度の優秀な者を毎年度末に高体連の選考委員会より選出された者に対して与えられるのである。選考委員会ではスポーツの各分野にわたつて県下の高校より各部門別に表彰者を決定する。

毎年県内高校中より十四、五名が各部門より選考され本校よりの表彰者は今まで発表されている本年度分では先の二名である。排球部の名誉であると共に本校の非常な名誉である。

△三寒四温の今日このごろ、急変する気候にもめげず梅の花がほころび始めた。新しい春を告げ生命の脈打つ喜びを語るかよわく美しい風情である。

新谷さんなど

に賞状傳達

先般行われた若戸リエクリエーション大会に卓球二年の部三年の部にそれぞれ優勝した笹山和子さん、新谷惠美子さんの賞状伝達が二十日予餞会の席上、校長より伝達された。新谷さんはベテラン振

目覚し寺田君の進境

職業実務検定終る

職業実務検定は二月十日、本校において行われた。二月三日の珠算検定試験の際には商業科一五五名普通科四四名夜間十五名で級別にすると二級二名二級二名五級二三名六級六名であつた。その外商一は全員受検した。夜間が検定に参加したのは今回が始てである

また十日には全国商業高校簿記実務が行われ、江藤喬外一五八名が参加し二級に十三名三級に八五名がそれぞれ受けた。二級の十三名の内三名は外部の者であつた。

タイプの部では商業科で二、三年生のタイプを実習している者は全員受けるようになつており二九名が受検した。普通科は希望者で三年生に四、五名の参加者があつた。普通科生は余暇を良く善用し積極的な熱意で練習していた。寺田、神川、吉木、花田、吉岡の諸君はその中に入る。特に寺田君は夏休み以来練習を始め、わずか半年足らずのうち標準一分間一五〇字を軽く突破し三百数十を打つ程に上達している。タイプ担任の天谷教官は『自分で練習の跡が分るということは楽しいことだ。なにごとも熱心さが必要です』と語られた。

雪の伯耆大山を征服

設営地は六十糎の積雪

（前掲）

高校生は積極的な活動を

高山母の同盟会長

目下、若松の文化向上のための講演をが、現在貴女の活躍されている方面について——

『私達は幹事約十四、五名会員約百二、三十名でクラブを組織しています。第一の目的はやはり若い女性の方に負けないように家庭婦人の教養を高めてゆくことに主眼を置いています。この間も玉井政雄さんにお願いして、思想方面についての講演をしていただきましたし、その他にも料理の講習等いろいろと暇をみてはしております』

問　若松の文化程度についてもつと積極的に中心になつて活躍していただきたいと思つておりますね。すべてに満足しているようなー、競争意識がないせいかも判りませんが、若松では何といつても最高学府なのですからいか積極性がないように思いますね。すべてに満足しているようなー、競争意識がないせいかも判りませんが、若松では何といつても最高学府なのですからもつと積極的に中心になつて活

問　最近若松は文化面においてすい分向上してきたようです

『新興都市である故か新しいものを早く消化しようとする努力は見られますね。しかし後に炭坑を控えているせいか、まだまだ封建的な思想があるようですね。他から眺めた時大変活気のある町ですが、これからはもつと市民の慰安場や公民館等を設けて内外共に充実した若松を築き上げてゆきたいと思います』

問　今度は若高生について一

『若松に高校が一つしかないせいか積極性がないように思いますね。すべてに満足しているようなー、競争意識がないせいかも判りませんが、若松では何といつても最高学府なのですからもつと積極的に中心になつて活境の中で勉強できるということは大変よいことだと思います。また制服も学生のシンボルなのですから、色々な面から見てもよいことですね。大賛成です』

問　最後に昔と現在の学生と比較して一お感じになることを

『何といつても男女共学になつたことですね。ほんとに羨ましく思いますよ。女子にも学問の道が開けて大いに勉強できますし、現代の学生さんは明朗活発で伸び伸びとしていらつしやるようですね。共学は勉強の面から見ても競争意識が手伝つて大いに刺激があるでしようし、嘘みたいに憧れた学校生活ですね。昔などは全然かけ離れた生活と勉強でしたから——』

校内誌の発行盛ん

本校校友会誌『つぶて』をはじめとして近ごろ校内での同人雑誌およびパンフレット的な物が盛んに作られ始めた。その二つ、三つを挙げても商業経済研究部発行（編集委員＝岡弘二）や一、二年の文学愛好者岡好会発行の『まつぼっくり』等がある。この大部分が一二年合体の発行継誌であるだけに本校生徒の文化向上のために大いに発展することが期待されている

寒風をついて熱戦を展開

近縣高校駅傳終る

福岡陸協、同高体連共催の第三回近県高校門司ー折尾間往復駅伝競争は去る二月三日、勝山公園ー折尾ー戸畑ー門司ー勝山公園、全六区六二・五キロのコースで行われた。この日午前十時降りしきる小雪をついて参加二十五校の後鋭は一斉にスタートした。本校の第一走者平山君はコンディション悪く十五位であつたが、第二走者伊藤君にバトンが渡されるや伊藤君はぐんぐんと出て七位に進み、第三走者松尾君はさらにでて六位に進出した。その後、一時八位に落ちたがラストの平重君によつて再び七位を獲得しそのままゴールインした。本大会のメムバーの中、田中、平山、山下などは二年であり一年の有望な新人と相和して来年が期待されている。

ガンジー一家國

新聞に浮き彫り写真

顔の売れた芸能人のまともな写真など面白くないとある新聞の夕刊に小月冴子のレリーフ（浮き彫り）の写真が現われた。これは普通に写した原板を再度複板に焼き付けこの二枚の原板を極くわずかズラシテ引伸す方法でズラシ方で千変万化するわけ写真術としては古いが新聞写真には恐らく初めての試みであろう。

全世界のラジオセツトの数一億八千二百万台の内五三%が米国三五%が欧州残りが中南米、アジア、アフリカとなつている。テレビヨンセツトは全世界で一千五百万台でその内訳は米国一千三百五十万台、英国百万台、ソ連五万台、フランス三万台その他となつている。なおお日本でのラジオセツト数は約九百四十七万台の割となつている。

世界のラジオ数は百万台の内五三%が米国三五%が欧州残りが中南米、アジア、アフリカとなつている。テレビヨンセツトは全世界で一千五百万台でその内訳は米国一千三百五十万台、英国百万台、ソ連五万台、フランス三万台その他となつている。なお日本でのラジオセツト数は約五十七台の割となつている。

ガンジーは文字通りハダカ一貫？で自己の信念を貫ぬいたつまり印度のために暴力を全く否定したのだが、これにあやかろうというのがこの『ガンジー国家』長谷川如是閑氏の言葉である。これからの日本の再建は何事においてもガンジーのようにハダカでもつて当らなければならないというのである。

子供の写真で天気予報

南カロライナ州クリーンヴイル・ニユース紙の天気予報欄に最近様々な格好の子供の写真が載り始めた。わずか六個角のこの写真、実は一見してその日の天気を表現するという仕組だがアイデアの主、マツコマル君の説明によると雷雨予報があれば両耳をふさぐ男の子暑さきびしいとあれば海水着の女の子といつた調子という。

各部共新入生に期待

いよいよ新学期を迎えて文化部運動部ともに、有望な新人探しに大童である。特に運動部においてはその主力メムバーが大部分三年生であつただけに、三年生を送り出すことは大きな痛手である。各部ともそれだけに新入生に対する期待は大きい。周到な某部においては二十三日の学力テストの際に既に受験生の入部勧誘の風景が見られた。

文化部A君談　僕の方の部でも指導を三年生にしてもらつていましたので大変心細い感じがします。新入生の中で有望な人々を誘つて育てて行きたいと思つています。

郷土に生まれ　郷土に育つ
若松信用金庫
中川通三丁目　TEL816

教科書辞書の御用は……
豊富在庫
富西海堂書店へ
本町四丁目　TEL415

厳然！女人禁制の寮

テネシー在留の岸教官

ガリオア資金による留学生として他三人の日本人と共にテネシー州ナッシュヴイル市ピーボデイ大学でガレッヂ・ライフを送つている本校定時制岸正明教官のそれは本紙十二、十五号に既報したがその後の大学生活の消息を最近本校宛に次の如く寄せてきた。紙面の都合でその一節だけを紹介することにする。＝写真は最近の岸教官

前略　こちらのカレッジ・ライフも半年経験しましたので要領を御知らせしましょう。ピーボデイは教師という職業柄、女子学生が多く寮も女子寮が三、男子寮が一つの割合になつています。私はレイパーマーという米人と同室ですが他の日本人グループは一緒に雑居しています。私のルームメートは二年生ですが、戦争も経験済みの青年だけにしっかりしています。それだけアメリカ学生らしい茶目気は全然ありません。毎日市内のダンス学校で教師を内職にしていますのであまり勉強する暇はないようです。こちらの生徒は普通の大学と違つて比較的勉強家は多いのですが、矢張り夜更しは多く（大抵自動車を持つていますので夜はガール・フレンドとの交際が多いようです）十一時ごろから皆寮に帰りだしますので一寸騒しいのが私には困りものです大抵就寝するのは十二時ごろになります。しかし寮の規則にも仲々面白いところがあり一寸お知らせしたいと思いますが、男子寮には女子は一さい足を踏み入れてはならぬことになつています。来客用の応接間へも女子は入室できません。反面女人禁制の寮だけに内輪の生活は全くのんびりしています個人的な交際はあまりないようです。もちろんわれわれは日本語ばかり喋つています。＝後略

〝卒業生の皆さん、お世話様でした〟

一層欲しかつた交歓演技

第三回予餞会終る

第三回予餞会は去る二月二十日午後一時より商講堂で三時間半にわたつて催された。まず浜崎環委員長の卒業生を送る挨拶、次いで家令前委員長が『失つてはならない物を失なはないように』と在校生に御礼を兼ねて挨拶を述べ二年男子のハーモニタ合奏より余興が開始された。余興会初の試みであつたクイズ〝私は誰でしよう〟は先生の特別出演もあつて場内を沸かせたが観衆の態度に注意すべき点があつた、劇『結末のない話』はストーリーは立派であつたがやや面白味に欠けていて当会にはテンポがぬるかつたが出演者に一年生が大部分をしめていたのは注目される。本予餞会で好評を博した一年の波多野、河野両君の万才は笑いの少なかつた場内に一段と光つていた。後半は民謡めぐり、三つの歌等娯楽番組があつたのでただけで、卒業生が一番期待していた三つの歌は時間の関係で中止されたのは進行の点で大いに疑問がもたれる。最後に会場が乱れるが結局最後のどたん場に自分の一矢で全くドンデン返しになつてしまう。情欲、殺戮、支配欲と人間の欠点を網羅してそれに厳しい批判を加え結局悪魔は悪として葬り去るクレールの軽快なタッチが全面に漲りわたる映画。またこの映画の特徴は脚本の役名が変るとともに俳優も入替つて演技するところにあるが青年アンリ（ジェラール・フイリップ）の若者らしい動きが印象的である。その他主演者はいづれも好演技を示し画期的な内容とともに新分野を切り開いている。原作はドイツの文豪ゲーテのファーストであるが脚本は原作をよくこなせていると思う。若人向きの近代にない佳作であります。（也）

年寄の繰言

本校教官　山村忠之

不必要に流行歌やスポーツが旺盛を極めたり、用事もないのにプラプラ散歩する人種が多かつたりするのは、一種の特色だと、ある人はいう。なるほどそれは面白いことをいつたもので何だか今の日本を冷かされたような気がしないでもない。『一列三番』や『ジャンガラガラ』が街の到る所で人々を鼓集させ、ミーチャン、ハーチャンがノド自慢に千里を遠しとせずして放送局に馳せ参ずる。実にご苦労千万という外はないが、これに聞き耳をたてる聽衆も少くないのだから天下は太平である。『歌うも馬鹿なら、聴くも馬鹿、同じ馬鹿なら歌わにや損』という気かも知れないが、それにしてもどうかと思う。もつとも講和条約に提灯行列を計画し、当局に『馬鹿野郎』とどなられて『ハツ』とばかりに慌てて中止した愉快なこともあるそうだから、何も、大衆ばかりを衆愚扱いにしなくともよかろう。日満議定書を髣髴させるといわれる講和条約の内容を仔細に検討して『国家の前途真に容易ならず』とばかり、維新の志士気どりで深刻がる愛国の士も多少はいることと思うが、風にそよぐ葦のような身分ではどうにもなるまい。東西両陣営の嵐の中にはさまれて『行こうか戻ろうかオーロラの下を』的日本の運命を考えると僕はいささか筆が渋る。ワンマン宰相の下で航路標識は、はつきりしている。社会党の分裂も、当然来るべきものがきたという感がないでもないが、それにしても情ない。

金ヘン、糸ヘン、化粧ヘン、再軍備景気やポイントフオア、か何かを頼りに経済的独立可能を力みかえつてみても『ハテ』『ハテ』ちようど筆がすべり過ぎて脱線した。学生と文化という、僕には苦手の題を頂だいしたが、これには少々弱つた。道義如何に地に堕ちようとも、アプレ蛙が如何に街に飛んでいようとも、日本文化を、否世界文化を担つてたつ者こそ、すなわち君たち若き学徒なるものであるんである。その道は如何に刑罰の悪路であろうとも来るべき時代に文化の炬火を高々とかかげる者こそ、他ならぬお身達なのだという結論になるだろうと思う。だから引伸し写真のように、結論の分りきつたことに、ながながと駄弁を、しかも蹊径な筆致で要すれば東西古今の学者連の各文句を引用して、学徒を叱咤激励するのがいいかと思つたが、僕達は青少年時代にあまりにも『叱咤され過ぎたためか自分までが『叱咤』のお先棒をかつぎたくない。しかしだ。獣々と真理の探究に、骨身を削つている学徒の姿は——それは実に情ない程少数のようだが——何ものにも増して尊い。貴族の邸内に住むトルストイより、行だおれになつたトルストイを僕は好む。黄熟病の研究に身を犠牲にした野口英世を僕は好む。白刃を振られても『しかし地球は動いている』

三人に一人の狭き門

進学にも劣らぬ就職競争率

進学者と同様に就職希望者にも相当な就職難がみられている現在六〇名の者が内定している。本年の就職希望者は一七八名で昨年の一二六名より五十二名増加している、従つて進学と同様に競争率が激しいわけであるが昨年の二月十日現在の十八名より今年は上回つて六十人が内定している。これを金融、百貨店、工業関係、その他に分けてみると金融はほとんどと銀行で富士（3）、帝国、福岡、山口、福岡相互、山口相互（2）西日本相互銀行で他に正金、殖産百貨店は井筒屋一名である、工業関係は八名で今年が圧倒的に多い丸紅が圧倒的で十八名、かね安井関農（3）で工業関係は安川電機、八幡製鉄（2）、八幡製鉄原料輸送、若松車輛（4）、大正鉱業、井華鉱業（2）、三井鉱山、日立（3）、東海鋼業（2）、永田製作、九州採炭（2）北九州石炭、岸川商事、安正石炭でその他としては鶴丸汽船、川崎汽船、若松駅である。これを昨年と比較してみると昨年は二月十日現在で金融関係は五名で今年は二名多く、百貨店は井筒屋一名である、工業関係は八名で今年が圧倒的に多い併しまだ就職者の半数も内定していないので今後のなり行きが注目されている

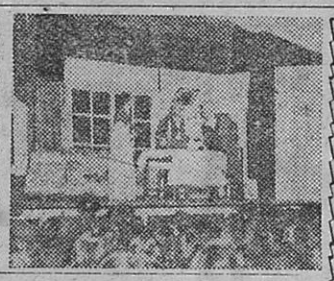
註、（）内は人数

悪魔の美しさ

辛辣な諷刺劇

NEW MOVIES

『イウの総て』など人間の心理を衝いた映画が好評を受けている時代にのつとるようにして現れたのがこの映画である。監督ルネ・クレールは人間の心の中に常に巣喰つている悪魔とその恐怖を始めて知る人間との闘争を辛辣に、あるいは滑稽にえがく。この映画を芸術的にも娯楽的にも推し進めたものは出て来るたびに神秘的で恐しいだけと世界のどこに行つても折紙つけられている、悪魔がここでは人間と対等にいい争いをしたりして欠点もあり思案に惑うというような可愛い悪魔になつて出ることである。過去五十年間の自己の学問の無用を自認している、ファスト老博士（ミシエル・シモン扮ジエラール・フイリップ）は自己の心に悪魔がしのび入つていることを知つた。これぞ悪魔大王シファの命令によつて博士の魂を奪おうとしている小悪魔メフイスト（始めはアンリの姿、後ミシエル・シモン）である。魂を売るという契約を得るため彼はあまり賢くない頭を必死でしぼる。青春、女、金、戦い勝利とありとあらゆる御馳走を並べてもう一息という所までこぎつける。（也）



三つの歌等娯楽番組があつたのでただけで、卒業生が一番期待していた三つの歌は時間の関係で中止されたのは進行の点で大いに疑問がもたれる。最後に会場が乱れたのもこれが原因でないかと見られる。その他独唱山崎先生の剣舞等あつたが今度の予餞会を一貫してみると、昨年に比較して趣が変つて向上しているが卒業生には昨年のような娯楽的なものが喜ばれたのではないかと思われた。

卒業生H君談　今月の予餞会は文化祭のようなものと違うからもつとうちとけたものをして頂きたかつた。僕は今月の予餞会は一つも楽しくなかつたのが残念だ。

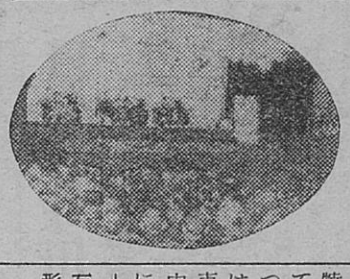
卒業生K君談　僕はあまり予餞会に学校側の意見が入りすぎたのではないかと思う。しかし在校生諸君に感謝の意を表する。

＝写真はその一場面

古典芸術に息をのむ満場の観衆

三和会演出の浄瑠璃鑑賞会

去る一月二十九日南校舎講堂で文部大臣賞を授与された桐竹紋十郎など三和会の演出で浄瑠璃鑑賞会が国語授業の参考も含めて開催された。浄瑠璃は『仙台萩』が演ぜられ全生徒は日本独特の芸術を熱心に観覧した。



【評】

一、二年は先に原田教官より浄瑠璃についての概説『仙台萩』のあらすじなど聞いていたので相当理解出来たようである。浄瑠璃は人形を使つて表現するだけに、歌舞伎などには見られない味があり特に今度は日本一流の方に演出していただいたので、われわれにとつて幸福であつた。なお同鑑賞会は二回にわたつて催され第一回は市内中学生等が参観したが静粛の中に全演技を鑑賞し終つたのは賞に値する。

＝写真はその一場面。正面舞台は右から鶴喜代君、政岡、千松の三人形を操る桐竹紋十郎とその弟子達

便所の落書

本校教官　川上豊

僕が学生の時学校の便所の壁に次のような落書があつた。

〒（円周率）＝3、141 592 653 589 793 238 462 643 383 279 5……

（石壁の隣に周髀所があつてそれは圏の宝で六畔先にでみがあつて午後は暁くな草を……）

暗記法まで書いて二百数十桁東洋的芳香の漂うW・Cの中で何人にも防げられずに暗記が出来るのであるから有難いことこの上ない。そして単にこれを憶えたばかりでない。われながら驚く程暗記力が旺盛になつて英語の辞書を三ケ月でペロリと丸暗記してしまつたのはそれからまもない時だつたのである。これはもう十年前の話であるが最近よくいわれる視覚教育が便所の中までされていたのであると回想しわれながら敬服している。

僕達の学校で時々週訓に『落書を滑す事』という項が挙げられているが、滑さなくては困るような落書、特に物理教室の長机等の小刀で彫り剔んであるものは父兄会の行われる度に父兄が机につかれて終止、視線を水平以上に保つて頂きたいと希うのは豈ただ僕一人であろうか？　落書の話題が出る度に僕は、ノートを持つて便所の落書を写しには入りたいような落書が懐しく想い出される。

今回は本業生に無料で配布しますので、二、二年は十円徴収させて戴きます。また本年度は五号しか発行出来ませんでしたが来年度は紙面の企画を一新し新部員と共に奮斗するつもりであります。学校新聞はその学園の批判的、指導的立場にあるものですが賢明なる諸兄姉の入部も期待して居ります。

編集後記

予算、行事の都合で本年度の発刊はこれで終りますが諸兄姉の熱心な御指導、御協力にもかかわらず皆さんの本志に添い得るような立派な新聞が出来なかつたことをまづお詫びします。

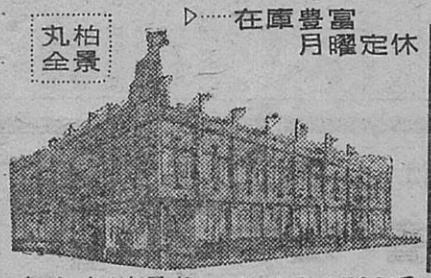
△　△

今回の発刊は本年度最後のものとして六面を企画し特集番組として三、四面を増設しました

△　△

大映調二大巨篇の公開せまる！
▽呼子星
三益愛子・伊丹秀子
星美千子・広沢虎造
小林桂樹・寿々木米若　主演
▽嵐の中の母
水谷八重子・岸旗江
沼田曜一・香川京子
原保美
監督佐伯清　主演
三月五日封切　若松旭座

▽腰抜け千両役者
ボツプ・ホープ　主演
▽情炎峡
田崎潤、霧立のぼる　主演
▽落花の舞
宮城千賀子　主演
三月五日封切　若松クラブ

柏
若松高等学校男女制服指定店
▽……丸柏百貨店は若松市に於ける古い傳統と多くの御ひいき先をもつ唯一の百貨店であります
▽……新学期を控えての制服、学用品の御用は是非当店でおたつし下さい
丸柏百貨店
休定曜月　豊富在庫
柏景丸全

市内中川通り　TEL1700番